



大分県 日田木材協同組合

『製材品をアメリカ、韓国、中国へ』

【主な品目】

製材品（スギ・ヒノキ）

【主な輸出先国・地域】

アメリカ、韓国、中国

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成23年からスギ、ヒノキの製材品を韓国、中国に輸出
- ◆ 令和元年からスギの製材品をアメリカに輸出

【輸出実績】（平成23年度より輸出開始）

| | 輸出量(m ³) | 出荷時期 |
|-------|----------------------|------|
| 令和7年度 | 342※ | 通年 |
| 令和6年度 | 524 | |
| 令和5年度 | 744 | |

※ 令和7年度の輸出実績は、12月末現在



トラックに積み込まれた輸出用の製材品

【取り組む際に生じた課題及び輸出後に抱えた課題】

- 1 輸出先の実需者から用途ごとに細かな規格や品質を求められる。
- 2 輸出先の金利や住宅価格の高騰により住宅着工件数が減少し、木材需要が縮小

【生じた課題への対応】

- 1 確かな加工技術を活かしてニーズに対応した製品加工を行うとともにサンプルを提供
- 2 規格・認証による国際化への対応（JAS規格・PEFC認証材 等）
- 3 新たな販路の拡大を図るため、仲介業者と連携し、現地訪問を実施



コンテナの積み込み

【対応の結果】

- 1 輸出先の実需者から信頼される製材品を供給することで、継続的な取引（輸出）を実現

【今後の課題・展望】

- 1 国内市場が縮小していくなか、確かな加工技術を活かして輸出に取り組み、「日本のスギ、ヒノキ」のブランド化を図っていく。
- 2 輸出先の実需者に直接セールスすることでアメリカへの輸出を更に増やしていきたい。
- 3 輸出の増加に向け、輸出先の実需者から求められる規格・品質に応じて加工する組合員を増やしていきたい。
- 4 輸出先国のニーズ把握や販路拡大に向けた調査などに人員が割けず、仲介業者頼りとなっている。



輸出用の製材品

【活用した支援・施策】 企業連携型木材製品輸出促進モデル事業、GFPグローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <https://hitasugi.jp/>

【連絡先】 担当者名：日田木材協同組合 宮崎、TEL：0973-24-2167



輸出先実需者等との商談